

公共施設マネジメント戦略会議（全体調整部会）
令和5年度第3回会議次第

令和6年（2024年）2月13日（火）
庁内フォーラム開催

◎ 議 題

- 1 FM戦略プランに基づく今後の施設再編（案）について
- 2 FM戦略プランの取組状況について

▽会議資料

資料1 FM戦略プランに基づく今後の施設再編（案）について

資料2 FM戦略プランの取組状況について

資料3 令和6年度以降の施設再編等実施予定

【参考】 横須賀市FM戦略プラン（概要版）

事務担当：財務部FM推進課
山中・石川・飯田
内 線 1 7 4 7 ・ 6 5 4 6
直 通 8 2 2 - 9 6 1 7

◎ FM 戦略プランに基づく今後の施設再編（案）について

【FM 推進課】

1 FM 戦略プランの推進

公共施設の再編は、FM 戦略プランに基づき、これまで老朽化した施設を中心に進めてきました。

プランの基本方針等に基づいて、検討をさらに進め、再編の具体化が進んだ個別の取り組み（案）を以下のとおり報告します。

2 取り組み（案）

対象者を限定せず、多様な世代の地域住民が、集い・交流できる場づくりに向け、以下の 3 施設について、再編の取り組みを推進します。

なお、これら 3 施設の廃止時期は、現在の指定管理期間の満了に合わせ、令和 6 年度末とします。

（1）施設の廃止

- ・老人福祉センター等：3 施設

施設名	時 期	具体的対応
本町老人福祉センター	令和 6 年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が 60 歳以上限定となっている左記施設について、全世代型の地域拠点への転換を推進するため、廃止します。 ・高齢者を含む地域住民等の居場所機能については、今後も確保していきます。
鴨居老人福祉センター		
公郷老人憩いの家		

3 今後の進め方

（1）前記「2 取り組み（案）」の施設について

- ① 廃止施設については、利用者や地域住民等に対して丁寧に説明し、理解を得ながら、各再編の実現につなげていきます。
- ② 再編時期が近づき、対応方法等の詳細が整理できた段階で、施設所管部局からあらためて議会説明を行います。

<参考 各施設の概要>

施設名	所在地	面積・構造	築年	主な部屋構成
本町老人福祉センター	本町2丁目 1番地10 総合福祉会館内	891.59 m ² 鉄骨鉄筋コン クリート造	平成5年	機能回復訓練室 図書談話コーナー 教養娯楽室 活動室 大広間
鴨居老人福祉センター	鴨居3丁目 771番地	653.65 m ² 鉄筋コンク リート造	平成6年	機能回復訓練室 図書コーナー 談話コーナー 教養娯楽室 学習室 大広間
公郷老人憩いの家	公郷6丁目 1番地3	250.09 m ² 木造	昭和50年 平成13年 一部増築	作業室 教養室 機能回復訓練室 和室

◎ F M 戦略プランの取組状況について

【財務部 F M 推進課】

1 「F M 戦略プラン（第 7 章）」に位置付けた取り組みの現状と今後の予定

(1) F M 戦略プランの方針を早期に発揮させるための取り組み

番号	①	取組名	地域コミュニティの拠点づくり
概要 (プラン記載内容)			多様な世代の地域住民が、集い、交流できる「居場所機能(個人が予約なしで自由に訪れることができるスペース等)」を、当該地域の拠点となっている施設に設けることについて検討します。
令和5年度の状況			<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターや青少年の家など、年齢等で利用スペースや利用時間帯が区分され、複合型の施設である北下浦市民プラザについて、世代にとらわれない多様な使い方ができる地域拠点となるように、運営管理の一元化の検討を進めました。 ・令和6年度末に廃止を予定している大楠幼稚園の跡施設の活用について、地域団体の代表者等による検討会を設置し、検討に着手しました。
今後の予定 (令和6年度以降)			<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から、北下浦市民プラザで運営・管理の一元化を実現します。 ・本町、鴨居老人福祉センターと公郷老人憩いの家については、多世代向けの居場所機能の設置等と併せて、廃止に向けた検討を進めます。 ・既に検討に着手した施設以外についても、居場所機能を設けた地域拠点のあり方について、さらに検討を進めます。 ・学校における拠点づくりについては、横須賀市教育環境整備計画と整合性を図りながら、検討を進めます。 ・検討会での意見を伺いながら、大楠幼稚園の跡施設について、居場所機能を含めた活用方法を検討します。
			R6 (2024)
			R7 (2025) 以降
			前期 中期 後期

番号	②	取組名	老朽化施設に対する安全確保の取り組み																												
概要 (プラン記載内容)			旧耐震基準で整備された施設を中心に、安全確保に向けた対応を図ります。 (旧耐震基準建物) ・青少年の家:8施設【追浜・本公郷・衣笠・森崎・浦賀・鴨居・久里浜・大楠】 ・老人福祉センター:2施設【船越・秋谷】 ・市営住宅:4施設【田浦月見台・長浦・大津・池の谷戸】																												
令和5年度の状況			<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の家を廃止する際には、当該施設が担う放課後児童の居場所機能について、近隣小学校へ放課後子ども教室を設置することにより対応しました。 ・青少年の家5施設(追浜・衣笠・浦賀・鴨居・久里浜)については、令和5年度末の廃止に伴う代替機能の設置を進めました。 ・秋谷老人福祉センターについては、令和6年度末の廃止、大楠青少年の家については、令和7年度中の廃止に向けて、地域に対する説明を行いました。 ・廃止済の田浦月見台住宅については、プロポーザルによる選考の結果、活用事業者候補が決定しました。 ・久里浜及び浦賀7丁目公園水泳プールについては、令和5年度末までに廃止します。 																												
今後の予定 (令和6年度以降)			<ul style="list-style-type: none"> ・廃止対象の青少年の家について、その代替機能の検討と併せて、順次廃止を進めます。 ・田浦月見台住宅については、提案に基づく改修に向けて、事業者との協議を進めます。 ・北消防署追浜出張所については、移転の準備を引き続き行います。 ・公園水泳プールについては、代替機能として学校プールを利用する検討と併せて、引き続き廃止を進めます。 ・大楠地区で、大楠青少年の家と秋谷老人福祉センターを廃止し、周辺施設の再編の検討を進めます。 ・秋谷老人福祉センターは、跡地の活用について、民間とも連携して検討します。 ・その他、相当の築年数が経過した公共施設については、安全性確保の観点や、維持管理費の状況を踏まえ、廃止の必要性を検討します。 																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">R6(2024)</th> <th>R7(2025)以降</th> </tr> <tr> <th>前期</th> <th>中期</th> <th>後期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">取り組み①と連動した廃止(青少年の家)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">市営住宅長寿命化計画に基づき順次取組み(市営住宅)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">北消防署追浜出張所の移転準備</td> </tr> <tr> <td colspan="4">大楠地区の施設再編(~R7)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">公園水泳プールの廃止(R5~)</td> </tr> </tbody> </table>	R6(2024)			R7(2025)以降	前期	中期	後期		取り組み①と連動した廃止(青少年の家)				市営住宅長寿命化計画に基づき順次取組み(市営住宅)				北消防署追浜出張所の移転準備				大楠地区の施設再編(~R7)				公園水泳プールの廃止(R5~)			
R6(2024)			R7(2025)以降																												
前期	中期	後期																													
取り組み①と連動した廃止(青少年の家)																															
市営住宅長寿命化計画に基づき順次取組み(市営住宅)																															
北消防署追浜出張所の移転準備																															
大楠地区の施設再編(~R7)																															
公園水泳プールの廃止(R5~)																															

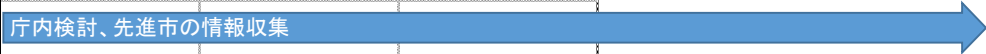
番号	③	取組名	施設の集約・複合化に向けた取り組み		
概要 (プラン記載内容)	施設の移転・更新を行う際には、他施設との集約・複合化によって面積縮減を図り、より効率的で利便性の高い施設としていくことを原則とします。				
令和5年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 当プラン第7章2(1)①～⑥の再編を伴う取り組みを実施する際には、原則として、集約・複合化を念頭に入れて検討しました。 令和5年度末に坂本青少年の家を廃止し、令和6年度中に同跡地へ坂本コミュニティセンターを移転することについて、地域に代替機能等に関する説明を行いました。 大楠青少年の家や秋谷老人福祉センターの廃止を踏まえて、大楠幼稚園跡施設の活用方法について、検討を進めました。 				
今後の予定 (令和6年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、施設の新設や建て替えにあたっては、周辺の公共施設との集約・複合化を常に意識して進めます。 特に、施設の拠点性や効率的な利用という視点で、横須賀市教育環境整備計画に基づき検討対象となる学校施設の複合利用に着目します。 坂本コミュニティセンターについては、現坂本青少年の家へ令和6年度中に移転します。 消防団第10分団と北消防署追浜出張所の移転・統合の準備を引き続き行います。 森崎保育園とハイランド保育園を統合し、(仮称)南こども園を令和8年度開園に向けて、工事に着手します。 放課後子ども教室や放課後児童クラブの集約に向け、大楠幼稚園跡施設の活用方法について、引き続き検討します。 				
	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		
	2(1)①～⑥の再編を伴う取り組みの実施時に併せて集約・複合化を検討				
	坂本コミュニティセンターの移転(～R6)				
	消防団第10分団と北消防署追浜出張所の統合準備				
森崎・ハイランド保育園を統合し(仮称)南こども園を整備(～R8)					
大楠地区公共施設再編に伴い大楠幼稚園跡施設の活用(～R7)					



番号	④	取組名	民間との協働による取り組みの推進		
概要 (プラン記載内容)	PFI手法のように制度化された公民連携はもちろん、民間施設の利活用や民間団体との協力関係構築など、費用を抑えつつ良質な公共サービスを提供することが期待できる民間との協働について、その可能性を積極的に検討します。				
令和5年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本公郷改良アパートの建て替え事業については、令和7年6月の竣工に向け、引き続き、PFI手法により、取り組みを進めました。 ・秋谷老人福祉センターの廃止にあたっては、地域活動スペースの必要性を念頭に置きながら、民間との連携を視野に入れた跡地活用について、引き続き検討しました。 ・未利用の土地・建物を、「民官連携推進HP」へ掲載するなど、民間連携に向けた取り組みを積極的に進めました。 ・老人デイサービスセンター(本町・鴨居・北下浦)を廃止し、民間サービスへの機能移転を進めました。 ・ソレイユの丘については、Park-PFI制度と指定管理者制度により整備し、4月にリニューアルオープンしました。 				
今後の予定 (令和6年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の取り組みを引き続き進めます。 ・上記の施設以外においても、市が行っている事業の民間移行の可能性について、検討を進めます。 ・市が提供する施設サービスについて、民間等が所有する施設等を活用する手法の検討を進めます。 				
	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		

番号	⑤	取組名	適正な施設保全の推進		
概要 (プラン記載内容)	施設の保全に関する計画を策定し、長寿命化に向けた取り組みを計画的に行います。				
令和5年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設保全計画で優先的に対処すべきと評価した建物の長寿命化を図るため、大規模改修等の優先順位付けを行い、それに基づき予算計上を実施しました。 ・保全の視点を踏まえて、施設修繕・工事に関する令和6年度予算調整を行いました。 				
今後の予定 (令和6年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設全般で突発的に生じる施設修繕に対し、柔軟かつ早急に対応するため、令和6年度も引き続きFM推進課で緊急修繕料の予算を計上します。 ・公共施設保全計画で示した建物の評価結果に応じた予算化を進め、大規模改修等の長寿命化に向けた改修・修繕を実施します。 				
	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		

番号	⑥	取組名	小・中学校の適正規模・適正配置の取り組み
概要 (プラン記載内容)	本市には、小学校46、中学校23の計69校の市立小・中学校があり、床面積で見ると、公共施設全体の約4割を占めています。 今後、児童数が少なくなる学校や、通学距離が長い学校等について適正規模・適正配置を進めるため、具体的な検討地域や時期を定めた「実施計画」を策定します。 「実施計画」に基づき、学校関係者や保護者、地域の方々で構成する「地域別小中学校適正規模・配置検討協議会」を設置し、通学区域の見直しや統廃合などの方策を検討します。		
令和5年度の状況	・横須賀市立小中学校適正配置審議会からの答申に基づき、市長と教育委員を構成員とする総合教育会議を経て、令和6年1月の教育委員会定例会において、令和7年4月に田浦小と長浦小及び走水小と馬堀小を統合することを決定しました。		
今後の予定 (令和6年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・逸見小・沢山小・桜小・汐入小の適正配置については、計画を前倒して、令和6年度から検討を開始する予定です。 ・①の地域拠点機能をはじめ、学校機能以外の公共施設の機能を学校再編後の跡地や学校内に設ける場合には、横須賀市教育環境整備計画における当該校の位置づけを踏まえ、地域別の検討を行うことを基本とします。 ・学校の再編はFM戦略プランの目標達成上も重要な位置付けを占め、関係する部局も多岐にわたるため、全庁的に連携を図ります。 		
	R6(2024)		R7(2025)以降
	前期	中期	後期
	計画で位置づけた学校(田浦小・長浦小、走水小・馬堀小)を対象にした統廃合の準備(~R6)		田浦小と長浦小を、走水小と馬堀小を統合(R7~)
計画で位置づけた学校(逸見小・沢山小、桜小・汐入小)を対象にした検討			

番号	⑦	取組名	施設使用料等の見直し
概要 (プラン記載内容)	将来の公共施設の適正な管理と安定的な運用に向けて、施設使用料等のあり方を見直します。		
令和5年度の状況	・令和4年10月から、予約方法の利便性向上とあわせて、市外料金を導入しました。		
今後の予定 (令和6年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に、激変緩和措置を講じた暫定金額等の見直しを行います。 ・使用料改定に伴う収入増については、FM戦略プランの効果額として計上します。 		
	R6(2024)		R7(2025)以降
	前期	中期	後期
			使用料徴収見直し(激変緩和⇒本来金額) 検討

番号	⑧	取組名	維持管理費縮減の取り組み		
概要 (プラン記載内容)	維持管理費の縮減に向けて、維持管理手法や委託方法の見直しのほか、施設のあり方についても検討します。				
令和5年度の状況	・北下浦市民プラザについて、老人福祉センター、青少年の家を廃止してコミュニティセンターと運営・管理の一元化を図り、令和6年4月からの実施に向けて調整を行いました。				
今後の予定 (令和6年度以降)	・保守管理について、個別契約を複数契約に見直した場合、市内の中小事業者に影響を及ぼす可能性もあるため、契約形態の見直しについては、慎重に検討します。 ・将来的に複数の業務や施設を包括的に委託する「包括委託」の必要性を検討するため、先進自治体の調査を引き続き行います。				
	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		
	庁内検討、先進市の情報収集 				

番号	⑨	取組名	利用率向上のための取り組み		
概要 (プラン記載内容)	利用率向上を図るため、市民にとって利便性の高い施設となるように、ソフト・ハードの双方から取り組みを進めます。				
令和5年度の状況	・老人福祉センターや青少年の家など、年齢等で利用スペースや利用時間帯が区分されている複合型施設であった北下浦市民プラザについて、世代にとらわれない多様な使い方ができる地域拠点となるように、令和6年度からの実施に向けて、運営・管理の一元化の検討を行いました。				
今後の予定 (令和6年度以降)	・利便性向上を図っても利用率向上が見込みにくい施設や、行政サービスの観点から見直しが必要と思われる施設については、施設やサービスの縮減も方向性のひとつとして検討します。				
	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		
	北下浦市民プラザ一元化による運営・管理 				
利用状況が思わしくない施設等の縮減の検討 					

番号	⑩	取組名	未利用施設の速やかな資産活用		
概要 (プラン記載内容)		前記(①～⑨)までの取り組みに伴い、行政目的での利活用が見込まれなくなった施設については、速やかに売却・貸付を行うことや、サウンディング調査を行い、新たな活用方法を民間事業者から募ることなど、資産としての活用を積極的に進めます。			
令和5年度の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・土地・建物の適正利用について検討するため、公有未利用地等の有無とともに、当該地等の利活用の希望有無について全庁照会し、庁内マッチングの取り組みを進めました。 ・未利用の土地・建物を、「民官連携推進HP」へ掲載するなど、民間連携に向けた取り組みを進めました。 ・浦郷改良アパート跡地への夏島町自転車等保管所移転が完了しました。 ・船越老人福祉センター及び上町保育園跡地について、売却に向けた準備を進めました。 			
今後の予定 (令和6年度以降)		<ul style="list-style-type: none"> ・浦郷町自転車等保管所隣接の余剰地については、民間への有償貸付等を検討します。 ・定期的な調査による未利用施設の状況確認のほか、部局の取り組みに伴い生じた突発的な事例にも随時対応していきます。 ・売却が見込める衣笠・鴨居・久里浜青少年の家跡地について、売却手続きを進めます。 			
		R6(2024)			R7(2025)以降
		前期	中期	後期	
		衣笠・鴨居・久里浜青少年の家跡地の売却			

(2) 横須賀再興プランに位置付けられている取り組み

番号	①	取組名	スクールコミュニティの推進		
概要 (プラン記載内容)	子どもから高齢者まで様々な世代が交流できる仕組みとして、小学校等の学校施設内に地域コミュニティ機能を集約するなど、地域のコミュニティ拠点を整備します。				
令和5年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 整備済みのモデル校(汐入小学校、鷹取小学校、馬堀小学校)で、引き続き支援を実施しました。 新たに浦賀地区での整備に向けた支援を行いました。 				
今後の予定 (令和6年度以降)	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		
	汐入小・鷹取小・馬堀小で事業実施				
	その他地域で同様の事業実施を促進(~R7)				

番号	②	取組名	市街地再開発事業における公共施設の参画		
概要 (プラン記載内容)	中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新を図るため、市街地再開発事業への支援を行います。				
令和5年度の状況	・追浜駅前第2街区市街地再開発事業において、(仮称)追浜駅前図書館の管理運営方法・事業手法等の検討を行いました。				
今後の予定 (令和6年度以降)	R6(2024)			R7(2025)以降	
	前期	中期	後期		
	追浜駅前 計画・設計			追浜駅前 除却・工事(~R9)	
	(仮称)追浜駅前図書館 基本計画の策定等				

2 FM戦略プランに基づく縮減見込額

令和元年7月に策定した「横須賀市FM戦略プラン」においては、施設の更新等に係る経費見込みを令和11年度までに175億円縮減することを目標として、取り組みを進めています。

令和6年度、新たに見込まれる縮減額は、約39.1億円となり、累計では約80.9億円(目標額の46.2%)となります。

<縮減見込み額等の累計額(以下(1)+(2))の内訳>

分類	縮減見込み額等
更新費用の減	61.3億円
建物維持管理費の減	1.8億円
土地売却等その他収入増等	17.8億円
合計	80.9億円

(1) 令和6年度に着手する再編等による縮減見込み額等の状況

<縮減見込み額等：39.1億円>

(令和7年3月末までに)

対象	取り組み概要	縮減見込み額等
・小学校(田浦、走水)	・建物廃止	更新費用：29.1億円
・老人福祉センター (鴨居、本町、秋谷) ・公郷老人憩いの家	・建物廃止 (本町は事業のみ廃止)	更新費用：5.7億円
・大楠青少年の家 ・大楠幼稚園	・建物廃止 (居場所機能を大楠幼稚園 跡地へ移転)	更新費用：1.6億円
・北下浦市民プラザ (老人福祉センター 青少年の家 コミュニティセンター)	・運営管理の一体化	建物維持管理費：0億円
・公園水泳プール (湘南鷹取5丁目第2、富浦)	・建物廃止	更新費用：0.7億円
・未利用地	・未利用が確定した土地の 売却	売却額：2.0億円

(2) 令和5年度までに取り組み着手済の再編等による縮減見込額等の状況

＜縮減見込み額等：41.8億円＞

対 象	取り組み概要	実施年度	縮減見込み額等
・青少年の家 〔追浜、坂本、衣笠、浦賀、 鴨居、久里浜〕	・建物廃止 (坂本は事業のみ廃止)	R 5	更新費用：10.2億円 建物維持管理費：0.6億円
・坂本コミュニティセンター	・建物移転 (現坂本青少年の家へ)	R 5	更新費用：1.8億円
・公園水泳プール (久里浜、浦賀7丁目)	・建物廃止	R 5	更新費用：1.2億円 建物維持管理費：0.04億円
・池上市民プラザ 〔老人福祉センター 青少年の家 コミュニティセンター〕 ・武山市民プラザ 〔青少年の家 コミュニティセンター〕	・運営管理の一体化	R 4	建物維持管理費：0億円
・田浦青少年自然の家	・建物廃止	R 4	更新費用：0.3億円 建物維持管理費：0.1億円 建物解体費：△0.7億円
・役所屋追浜店 ・追浜市民活動サポートセンター	・借り上げ施設の廃止	R 4	建物維持管理費：△0.01億円 ※解体費含む
・有料の市民利用施設	・利用率向上に向けた予約方法等見直し ・市民以外の使用料設定	R 4 ～	収入増：0.3億円
・全老人福祉センター	・入浴設備の廃止	R 3	建物維持管理費：0.3億円
・船越老人福祉センター	・建物廃止	R 3	更新費用：3.2億円 建物維持管理費：0.3億円
・栗田老人デイサービスセンター	・学校内施設のうち当該施設部分のみ廃止	R 3	建物維持管理費：0億円 ※完全利用料金制のため効果額はなし
・本公郷青少年の家	・建物廃止	R 3	更新費用：1.8億円 建物維持管理費：0.1億円
・追浜コミュニティセンター南館	・追浜行政センター分館 建物のうち一部を廃止	R 3	建物維持管理費：0.2億円
・電力調達	・電力調達方法の見直し	R 3 ～	支出減：1.6億円

対 象	取り組み概要	実施 年度	縮減見込み額等
・中央こども園	・上町保育園と鶴ヶ丘保育園を統廃合して新たに整備	R 2 ～	更新費用： 2.9 億円 ※面積減による効果 こども園整備費：△7.7 億円 借り上げ施設廃止： 0.2 億円
・施設使用料等	・コミセンの有料化やその他有料施設の使用料見直し	R 2 ～	収 入 増： 6.0 億円
・本公郷改良アパート	・建替え	R 1 ～	更新費用：10.5 億円 ※面積減による効果
・未利用地	・未利用が確定した土地の売却	R 1 ～	売 却 額： 8.6 億円

【参考】

これまで市議会にお示ししてきた取り組み（上記の表には未記載の令和7年度以降に着手するものも含む）について、すべて完了したと仮定した場合の再編等の効果を精査すると、以下の達成率になるものと見込んでいます。

分 類	縮減見込み額等
更新費用の減	99.7 億円
建物維持管理費の減	3.6 億円
土地売却等その他収入増等	35.5 億円
合 計	138.8 億円 【目標額 175 億円に対し 79.3%】

令和6年度以降の施設再編等実施予定（議会公表済み分）

	再 編 実 施 年 度		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
対象施設と再編の方向性	北下浦市民プラザ 【複合施設一元化】	森崎保育園 【移転・統廃合】	長浦住宅 【廃止】
	坂本コミュニティセンター 【移 転】	ハイランド保育園 【移転・統廃合】	大津住宅 【廃止】
	湘南鷹取5丁目第2 公園水泳プール 【廃止】	森崎青少年の家 【廃止】	池の谷戸住宅 【廃止】
	富浦公園水泳プール 【廃止】	大楠青少年の家 【廃止】	/
	大楠幼稚園 【廃止】	根岸公園水泳プール 【廃止】	
	本町老人福祉センター 【廃止】	北消防署追浜出張所 【移 転】	
	鴨居老人福祉センター 【廃止】	消防団第10分団 【移 転】	
	公郷老人憩いの家 【廃止】		
	秋谷老人福祉センター 【廃止】		
	田浦小学校 【統廃合】		
	走水小学校 【統廃合】		